

ハイドリヒの権限獲得

1939年1月以降、ハイドリヒは保安警察兼保安部長として、ユダヤ人に対する処置に際してきわめて重要な決定権を持っていた。彼は最初にドイツとオーストリアからのユダヤ人の移住と追放の促進にこれを利用した。ハイドリヒは上述の追放・特別居住区計画についても、例えば1939年12月には国家保安本部の内部に追放作戦の中心的な措置のための独自の担当部局を創設するという方法で介入し、マダガスカル入植計画に指導的な役割をもって参加しようとした。それから1941年春の間に、予定されたソ連侵攻がユダヤ人移送者の新たな受け入れ地域も提供するという可能性が浮かび上がってきたとき、ヨーロッパでの勢力圏における「ユダヤ人問題の最終解決」の計画についての全権がハイドリヒにあることが文書で認められた。それゆえ1941年夏の間、彼は行動隊アインザッツグルッペンによる現地でのユダヤ人の大量殺害について責任者として命令を出していただけでなく、新たな占領地域へのその後の移送の調整も行っていた。ハイドリヒは1941年9月に帝国保護領ベーマン・メーレン（ボヘミア・モラヴィア）の総督代理に任命されたことによって、その地域における権力者としての権限ある地位を追加的に獲得し、チェコ・ユダヤ人のその後の運命に対して責任を負うことになった。

移送の開始

1941年9月、ヒトラーはドイツ本国および保護領のユダヤ人を東方へ移送することを決定した。この命令の実行に取り組んだのはヒムラーとハイドリヒであった。9月18日にヒムラーはヴァルテラント地方長官に宛てて、そのリッツマンシュタット（ポーランド語名はウッチ）・ゲットーでは今や6万人近くの移送者を受け入れなくてはならないが、次の春までの間にその6万人はさらに東方へ送り出されることになっていると書いている。だがこのとき、のちにミンスクやリガでもそうであったように、占領軍当局はこの移送計画に対して異議を申し立てて、ユダヤ人が送られてくると場所不足が深刻化し、戦時重要物資の生産が妨げられ、また彼らが抵抗グループに結びつくであろうと主張した。しかし、そのような異議に対して、ヒムラーとハイドリヒは自らの方針を押し通した。ハイドリヒは帝国保護領の総督代理として、テレージエンシュタット・ゲットーを開設させた。チェコ・ユダヤ人は次の受け入れ先が見つかるまでの間、そこに集められることとされた。

1942年1月20日にヴァンゼー会議が開催されたとき、およそ5万人がドイツからリッツマンシュタット（ウッチ）、ミンスク、カウナス、リガへ移送されていた。6000人以上のドイツ・ユダヤ人が、すでにカウナスとリガで銃殺されていた。テレージエンシュタット・ゲッ

トーでは、1月末には約1万のユダヤ人が生き残っていた。このボヘミアの通過ゲットーからは、それまでにリガへ向けてすでに二度の移送が行われていた。ソ連占領地域では組織的な民族虐殺がすでに開始されていた。1941年6月以降、ハイドリヒの行動隊アインザッツグルッペンと現地地の補助部隊は約37万のユダヤ人を射殺した。1941年12月には、ヴァルテガウからの——とりわけウッチ・ゲットーからの——ポーランド・ユダヤ人およびシンティ・ロマのガス自動車による殺害が、ヘウムノ（ドイツ語名はクルムホーフ）で開始された。

ベルリンの権力指導者たちが、1941年秋のドイツ本国からの移送の命令と同時に、これらの人々を殺害する決定をしていたかどうかは、歴史研究において議論されているところである。しかしながら、1941年12月には数多くの会議や談話のなかで、ヒトラーとヒムラーはほとんど包み隠すことなく、ヨーロッパ・ユダヤ人の大量虐殺について話している。ヒトラーは12月11日のアメリカ合衆国に対する宣戦布告でもって、これまでのヨーロッパ戦争を世界戦争へと拡大していたのであり、それによって、1939年に述べた「予言」を実現するための決定的な前提を自身で作ら出したことになっていた。その翌日、ヒトラーは全国指導者・大管区指導者秘密会議^{*27}を招集しているが、その後間もなくして、この会議について宣伝相ゲッベルスと総督ハンス・フランクが、ヒトラーが述べ

た絶滅の脅し脅しに関連づけて報告している。一週間後、ヒトラーとヒムラーは総統司令部において会談した。ヒムラーは彼の手記のなかで、「ユダヤ人問題」のそのときの協議項目について次のように書き留めていた。「パルチザンとして絶滅させる」べし、と。

民族虐殺に対する一般のドイツ市民の認識

1941年夏のソ連におけるユダヤ人の大量虐殺と、その後のヨーロッパのすべてのユダヤ人に対するジェノサイドを目標にした措置の準備はドイツの報道では取りあげられなかったにもかかわらず、それでもやはり、ドイツ市民はそれを暗示する数多くのものにふられていた。例えば1941年9月には、1939年1月に述べられたヒトラーの絶滅の脅し脅しが装飾書体を用いたポスターとして公共の広場や官庁内に掲示され、ゲッベルスは11月16日の週刊紙『ライヒ』に、ユダヤ人は今まさにヒトラーの「予言」の実現を身をもって知りつつある、と書いた。そのような暗示が何を意味するかを人々はよく理解した。ミュンヘンのコメディアン、ヴォルフ・ゴンドレルの1941年秋からの出し物ではすでに、本屋を舞台にした寸劇のなかで、『永遠のユダヤ人』の本は小説『風とともに去りぬ』と向かい合わせに置くことができるというジョ

*27 全国指導者は、ヒトラーのもとでナチ党の指導部を構成していた幹部。

Reichsleiter

ゲッベルス日記 (12月20日)

脅し!

執行部

ホロコーストの歴史

ヴァンゼー会議と
ナチス・ドイツのユダヤ人絶滅政策

春風社

08

横浜市立
大学新叢書

Geheime Reichsache!

166

30Ausfertigungen
16.Ausfertigung

Besprechungsprotokoll.

I. An der am 20.1.1942 in Berlin, Am Großen Wannsee Nr. 56/58, stattgefundenen Besprechung über die Endlösung der Judenfrage nahmen teil:

Gauleiter Dr. Meyer und Reichsamtseiter Dr. Leibbrandt	Reichsministerium für die besetzten Ostgebiete
Staatssekretär Dr. Stuckart	Reichsministerium des Innern
Staatssekretär Neumann	Bbeauftragter für den Vierjahresplan
Staatssekretär Dr. Freisler	Reichsjustizmini- sterium
Staatssekretär Dr. Bühler	Amt des General- gouverneurs
Unterstaatssekretär Luther	Auswärtiges Amt
H-Oberführer Klopfer	Partei-Kanzlei
Ministerialdirektor Kritzingen	Reichskanzlei

372024

K210400

J. I. 29. 1. 42.

[編著]

ヴァンゼー会議記念館

[訳]

山根徹也

清水雅大

haus_der_wannsee-konferenz

yamane_tetsuya

shimizu_masahiro

年	月日	事項	四人の家族
	2.8	ウッチ・ゲッター設置 (4月30日外部から封鎖)	
	4.15	ドイツ国内障害者施設におけるユダヤ人を拘束 (6月から殺害)	
	4.20	ヒムラー、アウシュヴィッツに一大強制収容所建設を指令 (4月27日建設開始、6月14日開設)	
	5.16	ドイツ国領内、シンティ・ロマの家族単位での組織的移送開始	
	5.17	ドイツ、フランス侵攻	
	5月	ランゲ特別行動隊、1500人のドイツ障害者をガス殺 (~6月)	
	6.10	イタリア、ドイツ側で参戦	
	6.21	フランス降伏	
	7月末	対英戦の膠着状況により「マダガスカル計画」断念される (ゲッター建設の本格化へ)	
	9.27	日独伊三国同盟締結	
	10.12	ワルシャワ・ゲッター設置 (11月15日封鎖)	
	11月		エウゲニアの家族、ワルシャワへ (その後ゲッターへ強制移住)
	12.18	ヒトラー、ソ連侵攻 (「バルバロッサ作戦」) を指令	
1941	3.1	ブルガリア、日独伊三国同盟条約に加盟	
	3.3	ヒトラー、ユダヤ人とポリシェヴィキ知識人の「除去」を言明 (6月6日国防軍統合司令部から共産党委員を見つけたい殺害せよという「コミッサール命令」)	
	3.7	ドイツおよびオーストリア内、ユダヤ人への強制労働義務導入	
	4月	ドイツ軍、ユーゴスラヴィア攻撃	
	6.22	ドイツ軍、ソ連侵攻 (独ソ戦勃発)	
	6.23	行動隊を中心にソ連領内のユダヤ人射殺を開始 (行動隊だけで半年間に約50万人を殺害)	
	7.1	ドイツ軍、リガ占領 (7月末までに1万8000人のユダヤ人を殺害)。行動隊D、ベッサラビアで作戦開始 (8月末までに約15万人のユダヤ人を殺害)	
	7.31	ハイドリヒ、国家元帥ゲーリングより、「ユダヤ人問題の最終解決」の準備措置に関する全体計画の立案を委任される。	快談方細野合
	8.1	ビャウイストクにゲッター設置	
	8.15	ヒムラー、A・ナーベに射殺以外の殺害方法検討を依頼	

年	月日	事項	四人の家族
	8.24	教会などの抗議により障害者「安楽死」作戦は公式には中止	
	9.1	ドイツおよびオーストリア内、ユダヤ人に黄色い星着用を義務づける	
	9.3	アウシュヴィッツ第一収容所でツィクロンBを用いた殺害実験 (ソ連兵捕虜など900人が犠牲に)	
	9.8	レニングラード包囲開始 (~1944年2月27日)	
	9.17	ドイツ国内ユダヤ人の東方への移送決定	
	9.29	バビ・ヤールでの虐殺 (~30日キエフ近郊でユダヤ人3万3771人を殺害)	
	10.23	ドイツ国内、ユダヤ人に対する出国禁止措置	
	10月	アウシュヴィッツ第二収容所ビルケナウ建設開始 (~1942年3月)	
	11.29	ハイドリヒ、高級官僚と党幹部を「ユダヤ人問題の最終解決」についての協議に招請	準備中
	11.30	「リガの血の日曜日」(約4000人のユダヤ人を殺害)	
	12.9	ヘウムノ (クルムホーフ) 絶滅収容所で移動ガス・トラックによる殺害開始 (~1943年3月末)	
	12.11	日本の真珠湾攻撃と対米戦争開始 (ドイツ時間12月7日) を受けて、ドイツが対米宣戦布告	USA 対米宣戦布告
	12.15	ドイツ軍、モスクワ前面から撤退	12.12
1942	1.16	ウッチ・ゲッターからヘウムノ絶滅収容所へ1万人以上を移送 (29日全員殺害)	同. EB-12.12.12 Gy's Galanterie Groebe's Pagebuch
	1.20	ハイドリヒの招請によりヴァンゼー会議開催	
	1月		エステルの父イツハク、ゲッターで死亡 (6ヵ月後兄ファレック死亡)
	2.1	親衛隊経済管理本部設置	
	2.24	ウッチ・ゲッターからヘウムノ絶滅収容所へ3万人以上移送 (4月2日までに全員ガス殺)	
	3.15	ベウジェツ絶滅収容所開設	
春		アウシュヴィッツ=ビルケナウ収容所でユダヤ人のガス殺開始 (絶滅収容所化へ)	
	3.25	約5万8000人のスロヴァキア・ユダヤ人、アウシュヴィッツ、ルブリン行政区へ移送される	
	3.27	フランス・ユダヤ人の移送開始	
	5.7	ソビブル絶滅収容所開設	